



和歌山大学 (和歌山県)

～地域とともに学ぶ～ 地域に根ざした和歌山大学で学びませんか？

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

和歌山大学は、1949年（昭和24年）に新制大学として設置されました。本学は、学芸学部（現・教育学部）・経済学部の2学部をもって発足し、1995年（平成7年）10月にシステム工学部を、2008年（平成20年度）4月に観光学部を開設し、4学部からなる和歌山県下唯一の国立大学法人として順調な発展を遂げています。特に本学は学部から大学院（博士前期・博士後期）へ至る一貫した観光学の教育課程を有する国立大学唯一の高等教育機関であり、2017年に国連世界観光機関（UNWTO）が実施する「TedQual認証」を日本で初めて取得し、国際水準の教育を展開しています。

本プログラムでは、日本語・日本文化を学ぶ留学生のための「わかやま日本学プログラム」の科目を履修します。日本語科目および「日本語日本文化研究」の科目以外は、日本人学生との共修科目となっています。

和歌山大学では、留学生ひとりひとりに対して、きめ細やかな指導・支援をしています。

② 国際交流の実績

大学間の交流協定数 58校

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研生）の受入れ実績

2023年：留学生数144人、日研生7人

2022年：留学生数144人、日研生9人

2021年：留学生数141人、日研生9人



和歌山大学マスコットキャラクター
わだにゃん

④ 地域の特色

和歌山は温暖な気候、変化に富んだ海岸線、様々な生き物が棲む美しい海、緑豊かな山々、清らかな河川などの豊かな自然、四季折々の多彩な食材などが誇るべき魅力的なところであり、博物学の巨星南方熊楠、世界初の麻酔手術で知られる華岡青洲、国連が「世界津波の日」を制定して讃える濱口梧陵らが生まれ育ち、活躍した土地です。和歌山大学のある和歌山市は大阪市内から約1時間、関西国際空港から約30分のところに位置する人口約35万人の都市です。和歌山県北部に位置するため大阪、京都、奈良にも近く、県南部には世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」もある恵まれた歴史・文化的環境にあります。和歌山市内を一望できる高台にある緑溢れるキャンパスで、伸び伸びと学べる静かな環境が整っています。

また、万葉集に歌われた和歌の浦や和歌山城などの史跡や名所に恵まれた伝統の町でもあります。

地域の方々による異文化交流、NPO支援団体、パディー、学生支援サークル等全面的な留学生支援を活発に行っています。生きた日本語を学ぶ機会に恵まれています。

■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

b) 主に日本語能力の向上のための研修

② 研修・コースの特色

プログラム担当教員のアドバイスに従って日本語・日本文学・日本文化に関する授業に出席し、また研究を行う。

③ 受入定員

10名（大使館推薦5名、大学推薦5名）

④ 受講希望者の資格、条件等

- ・専攻が日本語あるいは日本文化等に関する専攻で学習歴1年以上
- ・「日本語能力試験N3」程度、又は「実用日本語検定J.TEST D級」程度の学力
- ・日本と母国の架け橋人材に相応しい人物

⑤ 達成目標

日本文化を自国の文化と比較することによって、深く理解できるようになります。アカデミックジャパニーズを習得し、アカデミックライティングの力をつけます。

日研生は、各自1年かけて修了レポートを書き上げます。それを研修成果報告会で発表します。



<高野山(世界遺産)>



<紀美野町・生石高原>



<和歌山市・あじろ浜>



⑥ 研修期間（在籍期間）

研修期間：2024年9月下旬 ～ 2025年9月下旬
（在籍期間：2024年10月1日～2025年9月30日）

⑦ 奨学金支給期間

2024年10月 ～ 2025年9月

⑧ 研修・年間スケジュール

（記載例）

9月下旬 渡日（2024年9月25日予定）
 9月末 開講式及びオリエンテーション
 10月 第2学期授業開始
 10月 秋季留学生歓迎交流会
 11月 大学祭
 11月 留学生日帰り研修旅行
 12月 日本語スピーチコンテスト
 2月 第2学期定期試験
 4月 第1学期授業開始
 4月 春季留学生歓迎交流会
 6月 作文コンクール
 8月 第1学期定期試験
 9月中旬 日研究生修了式及び送別会
 9月下旬 帰国（2025年9月25日予定）

⑨ コースの修了要件

取得単位数と修了レポートを総合的に判断して修了を認定します。研修を修了した学生には、修了証書及び成績証明書（和文・英文）、わかやま日本学プログラム認定証明書を交付します。

前期・後期＝必修科目各7科目（14単位）
 選択必修科目1科目（2単位）
 選択科目3科目（6単位）を含む
 11科目（22単位）以上

早期修了は不可能

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴

① 4技能のレベルアップを目指し、② 日本文化体験を通して、異文化理解を深め、③ 修了レポートを作成する。レポートは、単なる報告ではなく、各自のテーマについて研究した成果をまとめて発表する。

2) 研修・コース開設科目

	科目名	時間数	単位	
語学	必修 日本語4科目 (A～D)	各30時間	各2	
	必修 日本語4科目 (K～N)	各30時間	各2	
研究	必修 日本語日本文化研究A, K	各30時間	各2	
日本文化関連	必修 日本学概論	30時間	2	
	選択必修 日本学演習	30時間	2	
	選択必修 日本学特論	30時間	2	
	選	日本事情（日本の社会と文化）	30時間	2
		ビジネス・コミュニケーション	30時間	2
		世界の中の日本語	30時間	2
		ビジネス日本語	30時間	2
	択	外国語として学ぶ日本語	30時間	2
		<指定した選択科目>※ ・民俗芸能論 ・わかやまを学ぶ ・Survey of Pre-Modern Japanese Poetry in Translation ・Survey of Pre-Modern Japanese Prose in Translation	各30時間	各2
	国際連携関連	選 国際開発論	30時間	2
選 グローバル社会論		30時間	2	
択 <指定した選択科目>※ ・国際協力論 ・ASEANと日本		各30時間	各2	

※指定した選択科目については、変更の可能性があります。

I) 必須科目

●「日本語中級/上級A～D, K～N」

日本語日本文化について専門的に学び、研究することができる日本語能力（高度な読解力、テーマを決めて必要な資料を集めまとめる力、レポートや論文を書く力）を付ける。

●「日本語日本文化研究A・K」

日本語日本文化について広く学び、研究レポートを書き、発表する。

●「日本学概論」

社会学、歴史学、民俗学、言語学など多角的な視点から、多言語多文化共生を目指して日本の社会や文化について学ぶ。

II) 選択科目

●「日本学演習」（選択必修）

和歌山及び周辺地域でのフィールドワークを通して、歴史や文化などを学ぶとともに、発表までの一連の活動から日本理解を深めていく。

●「日本学特論」（選択必修）

日本の精神文化、ポップカルチャー、女性問題、日本語を取り上げ、ディスカッションにより、それぞれのテーマを深く考える。

●「ビジネス・コミュニケーション」

ビジネス場面で使用される日本語の会話力や文書力を身につける。

●「外国語として学ぶ日本語」

外国語としての日本語の特徴を学び、実際に外国人に教える模擬授業を行う。

●「ビジネス日本語」

日本文化を理解し、さらにビジネスで必要とされる日本語を学ぶ

●「世界の中の日本語」

日本語の特徴を学び、外国人に対する日本語の教え方や、「やさしい日本語」「継承語」など多言語社会における日本語、日本語教育の問題について学ぶ。



<和歌祭・唐人行列>



<日本事情（日本の社会と文化）>





3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出来る科目及びその具体的な内容

●「日本事情(日本の社会と文化)」

和歌山の歴史・文化・伝統芸能を学び、地域の御祭りである「和歌祭」に参加することで、地域の人と交流する機会が持てる。

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容

●「日本文学概論」(必修)

●「日本文学演習」(選択必修)

●「日本文学特論」(選択必修)

●「日本事情(日本の社会と文化)」

●「ビジネス・コミュニケーション」

●「世界の中の日本語」

●「ビジネス日本語」

●「外国語として学ぶ日本語」

●「国際開発論」

●「国際協力論」

日本・和歌山を含めた学生出身国の多様な視点や価値観を理解し、課題に対して新しいアプローチや解決方法を考える能力を身につける。

⑪ 指導体制

1) プログラム指導教員

長友文子教授(日本語教育)

安本博司准教授(日本語教育)

留学生の勉学上の関心に応じて適宜副指導教員が指導します。

2) 指導体制

日本語・日本文化などに関わる国際イニシアティブ基幹日本学教育研究センター教員およびその他の学部の教員が指導にあたります。個々の日本語能力に基づいた細やかな指導を行っています。生活面については、国際イニシアティブ基幹日本学教育研究センターが指導・助言をします。



<キャンパスの様子>

■宿舎

和歌山大学では大学に隣接している民間寮(グリーンプラネットハウス)を宿舎として紹介しています。

●部屋のタイプ 単身用(1R)

●宿舎費

月額30,000円(食事なし)

通信費込み、光熱水費自己負担

入寮時に入寮費(45,000円)及び火災保険料(4,800円)を支払う必要があります。

●宿舎設備・備品

個室: ベッド, 机, 椅子, エアコン, ユニット

バストイレ, バルコニー

共用: ランドリー, 自炊室

自転車置き場(無料), バイク置き場(月額500円)

あり

●宿舎周辺の生活情報, 通学時間

所在地: 和歌山市中(大学まで徒歩約3分)

最寄駅: 和歌山大学前駅(バス約5分)

周辺: 大型ショッピングセンター(バス約5分)

コンビニエンスストア(徒歩約8分)



<グリーンプラネットハウス>



<日本語・日本文化研修留学生修了式>

■修了生へのフォローアップ

留学生のための進路指導, 就職支援を行っています。また、和歌山大学国際同窓ネットワークにて、日本語・日本文化研修留学生には、帰国後も修了者同士が連絡を取り合えるように国際イニシアティブ基幹日本学教育研究センターがお手伝いします。

<和歌山大学国際同窓ネットワーク>



<中国(南部)支部>



<ベトナム支部>

■問合せ先

<担当部署>

和歌山大学国際イニシアティブ基幹
日本学教育研究センター 国際交流課

住所: 〒640-8510

和歌山県和歌山市栄谷930

TEL: +81-73-457-7524

FAX: +81-73-457-7886

E-mail: kokusai@ml.wakayama-u.ac.jp

<ウェブサイト>

和歌山大学国際イニシアティブ基幹
日本学教育センター

<http://www.wakayama-u.ac.jp/cjs/>

和歌山大学ホームページ

<http://www.wakayama-u.ac.jp/>

担当(指導)教員

長友文子(教授)

国際イニシアティブ基幹日本学教育研究センター
メールアドレス: nagatomo@wakayama-u.ac.jp

安本博司(准教授)

国際イニシアティブ基幹日本学教育研究センター
メールアドレス: yasuhiro@wakayama-u.ac.jp